**基礎医学実習**

科目責任者（所属教室）：松浦　達也（統合分子医化学）

1. 教育目標

教科書に記載されている事実あるいは講義等で教えられた知識は、多くの研究によって得られたものである。基礎医学実習では、実験を自ら実施することで、講義で学んだ知識について理解を深め、問題点を解明する能力や論理的思考力を養うことを目標とする。また、得られたデータをもとに、学会方式の発表を行うことにより、プレゼンテーション能力の向上を目指す。

1. 到達目標
2. 実験の手技を身につける。
3. 実験の組み立て方を身につける。
4. 各実習の意義を説明できる。
5. 各実習で得られたデータを解釈し、説明できる。
6. 実験動物への愛護精神を身につける。
7. 教育内容
8. 実習内容、日程等の詳細は、後日実習書に記載して配布する。
9. 時限数　34〜40時限（11月28日〜1月17日）
10. 担当教室

統合生理学分野、適応生理学分野、統合分子医化学分野、

分子薬理学分野、薬物治療学分野

1. 人間力

実践力（行動力）

コミュニケーション力（プレゼンテーション力）

1. 評価

実習科目であるので、全出席を原則とする。

出席、実習態度、レポート、プレゼンテーション等をもとに評価する。

1. 実習書

説明会（11月28日（水）、３限目、131講義室）の時に配布する（全員出席のこと。これも出席に含める）。